



●支部だより

あかしゃ通信

2025.3 No. 43



北陸支部通常総会

ゆきみらい2025in上越ー除雪機械展示・実演会ー

支部活動報告

一般社団法人 日本建設機械施工協会 北陸支部

【支部長あいさつ】

北陸支部 支部長 高橋 修

(長岡技術科学大学 教授)



日頃から(一社)日本建設機械施工協会 北陸支部の会員の皆様には、建設事業の機械化推進はもとより、北陸地域のインフラ整備および経済発展にご尽力いただき、厚く御礼を申し上げます。

昨年1月に発生した能登半島地震に対する災害支援、インフラ復旧においても会員各位からご理解を賜り、被災地の復旧と復興に貢献していただいております。昨年6月には「令和6年度能登半島地震対応における功労者」として、北陸地方整備局より感謝状を頂戴しております。これもひとえに会員皆様のご理解とご努力の成果であると感謝を申し上げる次第であります。

また昨年11月には「功労者企業」として、当支部会員の企業3社が北陸地方整備局より感謝状をいただきました。あわせて同11月に当支部は、(公社)全国防災協会から「全国災害復旧及び災害防止事業功労者」として表彰されております。まことに名誉なことであり、重ねて関係各位に感謝いたします。

本年1月に当支部が幹事となって「ゆきみらい 2025 in 上越」を開催し、多くの来場者を迎えることができました。雪をプラスと考えるシンポジウム、雪に関する研究発表、雪関連見本市、除雪関連機器の展示・デモ等が行われ、来場者は興味のあるイベントに参加して貴重な情報を収集することができました。特に、ICT 技術を駆使した除雪機材やガイダンスシステムは最先端のものであり、今後ますます除雪作業の軽減や安全性向上が期待されるものと思われます。

このような状況下、2024年にはi-Construction 2.0が動き出しました。i-Constructionは2016年頃から本格的にスタートし、当初は土工で運用されていましたが、その後工種を増やして順次拡大していきました。i-Construction 2.0では、既往のICT技術を更に深化させて、2040年度までに建設現場の省人化を少なくとも3割達成させ、生産性を1.5倍向上させることを目指しています。すなわち、建設分野での機械化やデジタル化がより促進され、我々関係者には更なる創意工夫と高いスキルが求められることとなります。時代を先取りするという考えを持って、頑張りましょう。

最後になりますが、自然災害の激甚化と頻発化が懸念されているところでありますが、我々の生活環境を保全し、安全・安心なインフラを整備していくためには、会員皆様の変わらぬご理解とご協力が不可欠となります。引き続きご指導、ご鞭撻をいただけますようお願い申し上げます。



第13回 通常総会

総 会

日本建設機械施工協会は、支部毎に会員の支部会費や講習会などの事業収入があり、支部独自の会計があることから、北陸支部規程の定めにより支部通常総会を5月22日（水）新潟東映ホテルにおいて開催しました。

総会は議決権総数130社のうち出席議決数105社（うち委任状出席者48社）が出席され、上杉総務委員長の司会で進められ、丸山支部長の挨拶後に書記の任命、総会成立宣言、議事録署名人の選任を行い、議事が進められました。

議事は、第1号議案の「令和5年度事業報告」に関する件、第2号議案の「令和5年度決算報告」に関する件について上程し、異議なく承認されました。続きまして、第3号議案の「令和6～7年度役員に関する件」を上程し、役員名簿(案)の20人体制で諮ったところ異議なく承認されました。

丸山支部長には14年の長きにわたり支部長の大役をお勤めいただきましたが、このたび退任され、後任には長岡技術科学大学教授の高橋修氏が就任されました。

なお、副支部長は引き続き新潟トランスス(株)の和田学氏と(株)興和の齋藤浩之氏が再任されました。

続いて、第4号議案の「令和6年度事業計画」に関する件および第5号議案の「令和6年度収支予算」に関する件については、3月22日に第48回本部理事会で決議された旨を報告し、異議なく報告を終了しました。

その他として、協会本部の事業計画について書面配布されました。

以上で議事を終了し、議長より北陸支部の運営について、各会員への引き続きのご指導ご支援をお願いして総会を終了しました。



丸山支部長挨拶



岩見本部業務執行理事の挨拶 (Iwami Executive Director's Address)

北陸支部運営委員会名簿

支 部 長	高橋 修 長岡技術科学大学 教授	
副 支 部 長	和田 学 新潟トランスス(株) 取締役	齋藤 浩之 (株)興和 代表取締役社長
運 営 委 員	日下部久夫 (株)植木組 代表取締役社長	坂本 勝則 日本キャタピラー(同) 北信越地区営業本部長
	遠藤 聡一 遠藤鋼機(株) 代表取締役	堀 吉伸 日本道路(株) 執行役員北信越支店長
	市村 稿 (株)加賀田組 代表取締役社長	齋藤 弘幸 日立建機日本(株) 関東甲信越支社新潟支店長
	北川 隆明 北川ヒューテック(株) 代表取締役社長	野口健太郎 (株)日の出自動車 代表取締役
	横山 慶一 コペルコ建機日本(株) 上信越支社長	山田 和司 福田道路(株) 執行役員新潟本店長
	川崎 幸司 コマツカスタマーサポート(株) 東京関東越カンパニー新潟事業部長	岡崎 克典 北越工業(株) 生産調達部長
	山本 達也 大成ロテック(株) 北信越支社長	近藤 淳 (一社)北陸地域づくり協会 理事長
	小野寺裕一 東亜道路工業(株) 北陸支店長	真柄 卓司 真柄建設(株) 代表取締役社長
	米岡 拓彦 (株)NIPPO 執行役員北信越支店長	

永年会員、永年役員、優良建設機械運転員・整備員表彰

通常総会に合わせて、永年会員・永年役員表彰、優良建設機械運転員・整備員表彰の授与式を、上杉総務委員長の進行により実施しました。

永年役員表彰では、北陸支部長をお勤めいただいた丸山暉彦氏と真柄建設(株)真柄卓司代表取締役社長の2名が表彰され、永年会員表彰では会員期間60年の企業2社、40年が4社、20年が1社がそれぞれ本部表彰として、岩見業務執行理事より、感謝状と記念品が授与されました。

また、会員企業からの推薦を基に、優良建設機械運転員10名、整備員1名に、高橋(新)支部長より表彰状と記念品が授与されました。



本部表彰(永年会員・永年役員)



支部表彰(優良建設機械運転員・整備員)



記念撮影(永年会員・永年役員)

● 永年会員 :本部表彰

北陸支部団体会員	会 社 名
会員期間60年	北川ヒューテック(株)
	(株)吉光組
会員期間40年	(株)上原自動車工業
	水機工業(株)
	道路技術サービス(株)
	北陸ハイウエイ建設(株)
会員期間20年	昱工業(株)

● 永年役員表彰(7年以上) :本部表彰

(敬称略)

氏 名	会社名・役員名
丸山 暉彦	長岡技術科学大学 名誉教授 (一社)日本建設機械施工協会 北陸支部長
真柄 卓司	真柄建設(株) 代表取締役社長

● 優良建設機械運転員・整備員 :支部表彰

(敬称略)

種 別	氏 名	所 属
運 転 員	戸 田 誠	(株)笠原建設
"	高 木 昌 宏	鹿島道路(株)
"	竹 澤 秋 男	世紀東急工業(株)
"	小 林 政 一	(株)戸田組
"	五 十 嵐 満	長岡舗道(株)
"	白 岩 友 紀	福田道路(株)
"	梅 本 純 一	(株)北越トラスト
"	藤 由 潤	本間道路(株)
"	角 谷 睦	(株)森下組
"	松 田 寛	北川ヒューテック(株)
計	10名	
整 備 員	後 藤 雅 人	(株)日の出自動車
計	1名	



記念撮影(優良建設機械運転員・整備員)

特別講演

支部通常総会に合わせて、特別講演として、北陸地方整備局企画部長 信太啓貴様から「北陸けんせつミライ2024」と題してご講演をいただきました。

講演内容は、能登半島地震への対応、北陸地方整備局の事業、北陸けんせつミライ2024の取組、インフラ分野のDX推進など、多岐にわたりご講話いただき、参加した協会員におかれては、興味深い内容を真剣に拝聴されておりました。



北陸地方整備局 信太企画部長 講演

■講演概要

I. 能登半島地震対応	気候変動に対応した適切な工期・作業環境 工事書類スリム化ガイドの策定
R6能登半島地震 能登半島 道路復旧の経緯 R6能登半島地震 能登半島 道路の復旧状況 河道閉塞等の箇所と対策状況 照明車を活用した多様な被災地支援 散水車を活用した給水支援 災害対策用機械の現地活動を支えた協力事業者	IV. インフラ分野のDX推進
II. 予算の概要	北陸インフラDX人材育成センターの概要
北陸地方整備局 直轄事業費の推移 5カ年加速化対策の推進について	・研修ルーム・DXルーム
III. 北陸けんせつミライ2024	i-Construction2.0(建設現場のオートメーション化)
北陸の元気を支える建設業未来創造アクションプラン 週休2日適正工期宣言制度について 建設業における2024問題への対応 災害時における時間外労働規制について	建設現場のオートメーション化に向けたトップランナー施策 ・施工のオートメーション化 ・データ連携のオートメーション化(デジタル化・ペーパーレス) ・施工管理のオートメーション化(リモート化・オフサイト化) 建設現場のオートメーション化に向けたトップランナー 北陸地整での先行事例①(砂防堰堤の遠隔施工) 北陸地整での先行事例②(映像操作体験会) 北陸地整での先行事例③(ダンプトラックの運行管理) 北陸地整での先行事例④(ダンプ積載量管理)

懇談会

例年、総会・表彰式・特別講演の終了後には、懇談会が実施されております。

懇談会は、来賓を代表して岩見本部業務執行理事より挨拶を頂き、副支部長の新潟トランス(株)の和田取締役からの乾杯のご発声により開始されました。

懇談会の中締めは、(一社)北陸地域づくり協会の近藤理事長に締めて頂きました。

なお、北陸支部の堤事務局長が、今回の通常総会を最後に退任となることも紹介されました。



乾杯の発声(和田副支部長)



中締め(近藤運営委員と今回の総会で最後となる堤事務局長)

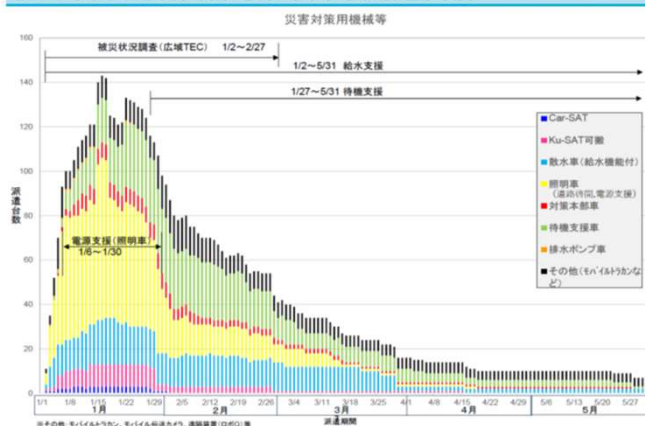
能登半島地震対応における功労者表彰



令和6年能登半島地震対応の概要

令和6年1月1日に発生した「令和6年能登半島地震」では、国土交通省保有の照明車、散水車(給水機能付き)、待機支援車など、約150台の災害対策車両が全国からTEC-FORCE派遣され、富山防災センターを拠点として、被災各地での夜間照明支援、給水支援などの応急対策活動が行われました。

能登半島地震(災害対策車両等)派遣実績 ※R6/1/1～5/31時点 国土交通省



北陸地方整備局 記者発表資料より

災害対策車両の活動を支えた
現地整備作業

JCMA北陸支部は北陸地方整備局との災害協定に基づく活動として、会員企業の(株)三越、千代田機電(株)、(株)山崎サービス 3社により、現地に派遣された災害対策車両の故障を未然に防ぐため、長時間稼働している車載型発電機のエンジンオイルを現地作業で交換したほか、不具合が発生した機器等の現地修理を実施しました。

令和6年1月～3月の間に3社で現地対応した件数は18件にのぼり、早期復旧に欠かせない災害対策車両の良好な稼働状況を下支えたことは、顕著な功績がありました。

この活動に対して、北陸地方整備局より感謝状が授与されたほか、(公社)全国防災協会より功績が認められ、功労者表彰を受賞しました。

表彰式等	式典月日	式典会場	受賞者
北陸地方整備局 功労者団体 感謝状贈呈式	令和6年6月21日(金)	北陸地方整備局	(一社)日本建設機械施工協会 北陸支部
北陸地方整備局 功労者企業 感謝状贈呈式	令和6年11月8日(金)・11日(月)	金沢河川国道事務所 北陸地方整備局	(株)三越、千代田機電(株)、(株)山崎サービス
(公社)全国防災協会 全国災害復旧及び災害防止事業功労者表彰	令和6年11月11日(月)	砂防会館別館	(一社)日本建設機械施工協会 北陸支部



R6.6.21 北陸地方整備局 感謝状贈呈式



R6.11.11 全国災害復旧等功労者表彰式(砂防会館別館)



R6.1.14 災害対策車両の集結状況(富山防災センター)



ゆきみらい2025 in 上越の開催概要

「ゆきみらい」は、国・地方公共団体・企業・NPO・市民団体等により、克雪・利雪技術の課題や研究、雪に強い街づくり、雪国の自然環境・歴史・文化の継承など、ハード、ソフト両面にわたる様々な取り組みに対する意見交換や情報交換、並びに全国へ雪国の情報発信を行うことで、雪国の未来を展望し、地域の活性化を図ることを目的として開催されるものです。

「ゆきみらい」の前身は、昭和37年度に山形県新庄市で開催された「除雪機械展示及び実演会」であり、昭和60年度から「ゆきみらい」として開催、昭和63年度以降は、これまで個別開催されていた「シンポジウム」「研究発表会」「見本市」及び「除雪機械展示・実演会」の4つの行事が同時開催となりました。北海道、東北、北陸の3地域のリレー開催で毎年冬季に実施されるものです。

今回は「未来を紡ぐ雪国文化」を開催テーマに、新潟県上越市 リージョンプラザ上越 において、令和7年1月30日(木)、31日(金)の2日間にわたり「ゆきみらい2025 in 上越」が開催されました。



オープニングセレモニー



ゆきみらい見本市会場、除雪機械展示・実演会場が隣接していることから、リージョンプラザ上越 エントランスロビーにて合同でオープニングセレモニーが実施されました。

当協会が主催する「除雪機械展示・実演会」は、除雪機械の展示や実演により高度化された最先端の機械や装置を紹介するとともに、冬期の道路交通確保における除雪機械の役割を来場の皆様に広く理解していただくことを趣旨として実施するものです。

今回は リージョンプラザ上越 駐車場 特設会場において、除雪機械メーカー及び官公庁合わせて12団体から除雪機械、装置等を出展いただきました。

開催期間中は積雪は少なかったものの、両日ともみぞれ混じりの降雪、強風といった悪天候にも関わらず多数の来場をいただきました。

北陸支部での運営は、平成30年に富山市内で開催して以来7年振りとなりましたが、北陸地方整備局及び出展各社並びに会場設営に従事いただいた会員企業（ハイウェイ・リバーメンテナンス㈱、㈱アクティオ新潟支店）の多大なるご協力に、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

【実施概要】

出展社数：12団体（民間11社＋北陸地方整備局）

展示車両・機器：25台

実演社数・機種：4団体、5機種

来場者数：2,370人（1/30 1,030人、1/31 1,340人）

未来を紡ぐ雪国文化

ゆきみらい

2025 in 上越

令和7年 **1/30 木** **31 金**

会場：リージョンプラザ上越
〒942-0063 新潟県上越市下門前446-2

入場 無料

スケジュール	1/30 木	1/31 金
オープニングセレモニー	会場：リージョンプラザ上越 エントランスロビー 10:00～10:15	
ゆきみらいシンポジウム	会場：リージョンプラザ上越 コンサートホール 14:00～17:00	
ゆきみらい研究発表会	会場：リージョンプラザ上越 3F 会議室 9:30～16:15	
ゆきみらい見本市	会場：リージョンプラザ上越 インダストリアル 10:00～17:00	9:00～16:00
除雪機械展示・実演会	会場：リージョンプラザ上越 駐車場 10:00～16:00	9:00～15:00
交流会	会場：デュー・セレッソ（上越市上越地区民会館） 18:00～19:45	

「ゆきみらい2025 in 上越」実行委員会

除雪機械展示・実演会（展示ブース配置状況）



出展企業・団体

1	範多機械株式会社
2	日野自動車株式会社
3	UDトラックス株式会社
4	名古屋電機工業株式会社
5	飛鳥特装株式会社
6	株式会社タイショー
7	中日本高速オートサービス株式会社
8	メルコモビリティソリューションズ株式会社
9	株式会社NICHIJŌ
10	岩崎工業株式会社
11	KANEKO重機株式会社
12	国土交通省北陸地方整備局北陸技術事務所

：JCMA 北陸支部 会員

北陸支部会員の出展・実演状況



【展示内容】作業のワンオペ化を実現する自動散布システムを搭載した湿潤式凍結防止剤散布車MS-40SWTを展示



【展示内容】滞留車両発生時等での活動を想定した防災用EVバイク2台を展示、雪上や積雪斜面での走破性を実演



【展示内容】ロータリ除雪車HTR308A、凍結防止剤散布車NWS25SS5、歩行者検出アラートシステム*を搭載したHTR88を展示（*北海道大学と共同開発）



【展示内容】スノープラウ道路段差回避システム、中分除雪ブラシを装備した10t級除雪トラックを展示、3Dサラウンドマルチビュー等を室内展示



高松 諭 北陸地方整備局長（右から2人目）の視察



廣瀬昌由 技監（左から3人目）、中川 幹太 上越市長（左から2人目）の視察



ICT除雪トラック（国土交通省 北陸技術事務所）の実演状況



除雪機械安全施工技術講習会の開催概要

本除雪講習会は、降雪期における道路除雪作業に使用する除雪機械を運転するにあたって、道路における危険を防止し、安全及び効率的な施工を習得していただくことを目的に開催しているものです。

この講習会は、昭和56年に除雪機械安全点検整備講習会としてスタートし、その後、昭和61年から除雪機械管理施工技術講習会として、また、令和2年度からは安全管理に関する内容を充実させ、「除雪機械安全施工技術講習会」として実施しているものです。

直轄道路や県管理道路では、本講習の受講を除雪機械乗務の資格要件として義務付けているところもあり、定期的に受講していただきたいことから、当支部としては前回受講から5年以内の再受講を推奨しております。

令和6年度の講習会開催は、これまでの受講者数やアンケートの意見等を踏まえ、新潟・富山・石川の3県内で7箇所において10回（10日）の開催といたしました。

開催場所としては、例年、富山会場と新潟会場では2日間の開催としていますが、今回、富山の会場施設が1日しか確保できなかったため、金沢会場と上越会場を2日間としました。

なお、(一社)全国土木施工管理技士会連合会の継続学習制度の対象プログラムとして登録しており、希望者にはCPDS受講証を発行しています。

講習内容については、交通管理者（各県警察）からの講話が新型コロナの影響で令和2年度以降中止となっていたましたが、令和6年度から再開しました。



上越警察署の講話 = 認知度UP行動 =
(上越会場)

講習会開催場所及び講習内容

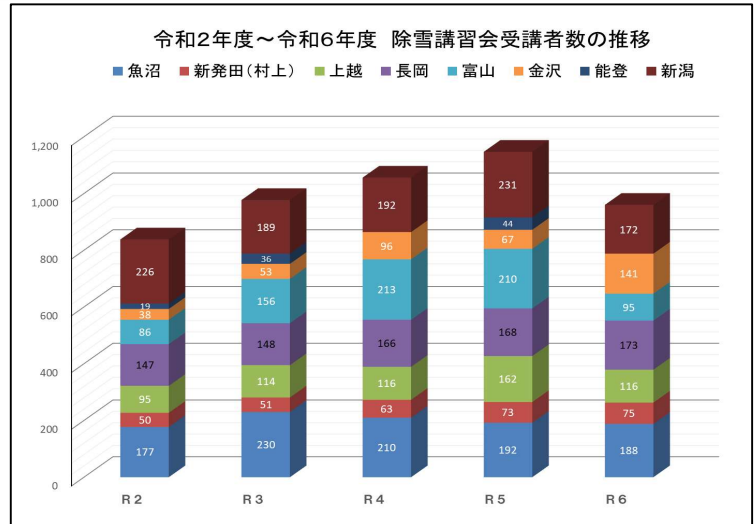
会場名	開催日時	会場	受講者数
魚沼会場	10月3日(木)	魚沼市地域振興センター	188名
新発田会場	10月8日(火)	新発田市カルチャーセンター	75名
新潟会場(1)	10月10日(木)	新潟県建設会館	88名
上越会場(1)	10月15日(火)	上越商工会議所	75名
上越会場(2)	10月16日(水)	上越商工会議所	41名
長岡会場	10月18日(金)	ハイブ長岡	173名
金沢会場(1)	10月24日(木)	石川県地場産業振興センター	93名
金沢会場(2)	10月25日(金)	石川県地場産業振興センター	48名
富山会場	10月29日(火)	富山産業展示館大会議室	95名
新潟会場(2)	10月30日(水)	新潟県建設会館	84名
合計		7会場10回	960名

科目	講師
(北陸地方整備局からの講話)	本局・事務所
(交通管理者からの講話)	各県警察
除雪ドーザ・除雪グレーダの点検、取扱い上の留意点	除雪機械メーカー担当者
ロータリ除雪車・凍結防止剤散布車の点検、取扱い上の留意点	除雪機械メーカー担当者
除雪施工法について	除雪施工技術担当者
除雪作業における安全管理他について	除雪施工技術担当者

過去5カ年の講習会受講者数の推移

令和2年度から令和6年度までの5カ年で受講者数の推移をみると、はっきりした理由は不明ですが、記録的な少雪年だった令和元年度の翌年は受講者数が大幅に減少しています。一転して、令和2年度冬期は平成18年豪雪を上回る大雪の年となり、翌令和3年以降の受講者数は毎年100名単位で増加傾向となっています。

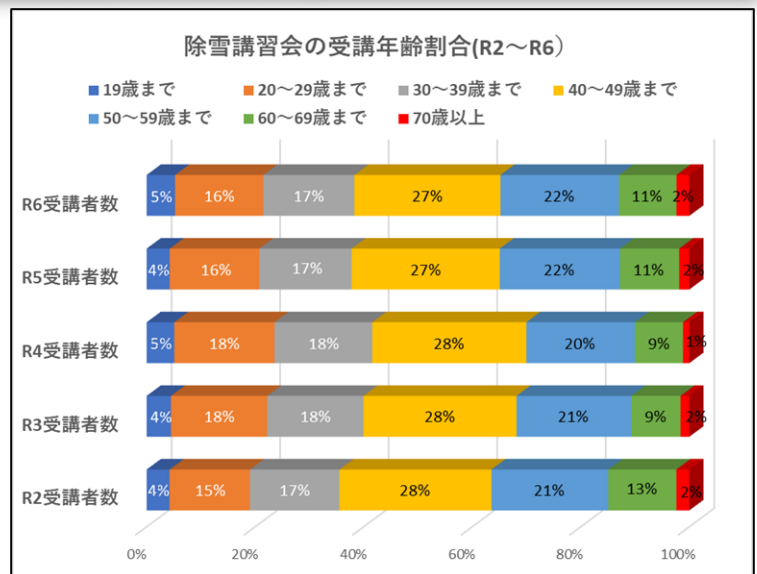
令和6年度は受講者が減少に転じていますが、前年の令和5年度冬期は北陸管内の累計降雪量が10カ年平均の7割程度と少雪であったこと、能登半島地震復旧工事等の対応がこの時期に繁忙となっていたことなどの影響が考えられます。



また、会場別の申込状況でみると令和6年度の受講受付開始から早々に定員に達したのは「魚沼会場」と「富山会場」であり、こうした受講ニーズが高い地区での開催日数を増やしていく必要があると感じており、次年度の会場確保に反映していく予定です。

講習会受講者の年齢構成(受講者アンケートより)

受講者に実施したアンケートによると、過去5カ年の年代別割合はそれほど変わっていませんが、昨年度当支部が発表した「道路除雪オペレータ実態調査」では令和4年時点で除雪オペレータに占める51歳以上の割合が44%と高年齢化が進んでいるのに対して、本講習会(R6)の受講者の割合は50歳以上が35%、50歳未満が65%と、中堅～若手の受講者が多くなっています。また、同アンケートのオペレータ・助手へ乗務経験を問う設問では「今冬初めて乗務」が24%、「1～3年乗務」が24%と、合わせて全体の約半数を占めており、各企業とも除雪現場への新規入場者を増やし、除雪オペレータの担い手確保に努力されていることが伺われます。



魚沼会場の講習状況



富山会場の講習状況



金沢会場の講習状況



〔中級〕ICT施工研修の概要

北陸ICT戦略推進委員会の取組計画に基づき、北陸地方におけるICT施工の普及・拡大を目的として、昨年度までは建設会社の入門者クラス、実践者クラスのICT建機オペレータを対象として、ICT活用講習会を実施してきました。

令和6年度は、北陸技術事務所内に新たに開所した「北陸インフラDX人材育成センター」の業界向け研修計画の一環として「〔中級〕ICT施工研修」が開催されました。

本研修は、建設企業におけるICT施工の内製化を推進するため、ICT施工に携わる技術者を養成する内容となっており、令和6年8月27日～28日の2日間で、北陸管内の建設会社26社より各社1名の受講により実施されました。

当支部からは、研修の補助作業として、会員企業からの講師派遣、研修に必要な資機材の提供、会場設営等の支援を実施しました。

なお、当支部会員の建設企業からも5社が受講しています。

研修内容(カリキュラム)

時 間 割											場 所	
											北陸インフラDX人材育成センター(北陸技術事務所)	
(1日目)	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
8月27日 (火)		受付	ICT施工の概要	3次元データの作成① ・入力データ準備 ・3次元データの作成 ・3次元データの出来形管理 ※福井コンピュータ(株) 社製ソフトウェア使用		休憩	3次元データの作成② ・BHへの施工データ入力	ICT施工演習 ・3DMCによる操作演習 ・遠隔操縦の操作演習	DX技術体験(DXルーム)	アンケート提出・閉講		
	整備局	整備局		(日本建設機械施工協会北陸支部)			(日本建設機械施工協会北陸支部)		整備局	整備局		
(2日目)	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
8月28日 (水)		受付	ICT施工の概要	3次元データの作成① ・入力データ準備 ・3次元データの作成 ・3次元データの出来形管理 ※(株)建設システム 社製ソフトウェア使用		休憩	3次元データの作成② ・BHへの施工データ入力	ICT施工演習 ・3DMCによる操作演習 ・遠隔操縦の操作演習	DX技術体験(DXルーム)	アンケート提出・閉講		
	整備局	整備局		(日本建設機械施工協会北陸支部)			(日本建設機械施工協会北陸支部)		整備局	整備局		

研修会場(北陸インフラDX人材育成センター)

- 北陸のインフラDXの推進を担う人材育成、及び建設業の新たな働き方の情報発信拠点として、令和6年3月27日北陸技術事務所に「北陸インフラDX人材育成センター」を開所
- 人材育成センターでは、整備局職員他、「民間技術者」、「自治体職員」、「学生」を対象とした講習会を実施

DXルーム体験メニュー	内 容
VR体験	・BIM/CIM成果(3次元モデル)によるVR体験
遠隔臨場体験	・ウェアラブルカメラによる遠隔臨場体験
3次元測量体験	・タブレットを使用した3次元測量体験
シミュレータ体験	・バックホウ、除雪トラック、UAVのシミュレータ体験

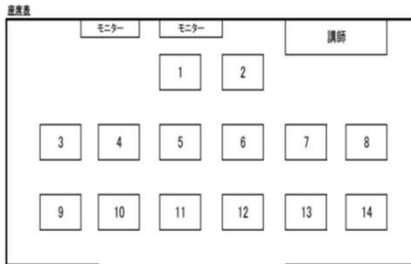


北陸地方整備局 記者発表資料



研修実施状況(研修ルーム)

※()内は講師名



座席配席図



開講挨拶
(小幡 建設情報・施工高度化技術調整官)



ICT活用の概要について
(小林 施工企画課長補佐)



三次元設計データ作成
(8/27福井コンピュータ)
※福井コンピュータのソフトウェア使用



三次元設計データ作成
(8/28建設システム)
※建設システムのソフトウェア使用



三次元施工用データ作成
(8/27・28日本キャタピラー協力企業)

研修実施状況(屋外実習エリア)

※講師は8/27・28とも日本キャタピラー



ICT施工-3DMC施工実習
〔演習盛土〕



3DMC施工実習の解説
〔遠隔操作室〕



3DMC遠隔施工実習
〔遠隔操作室〕

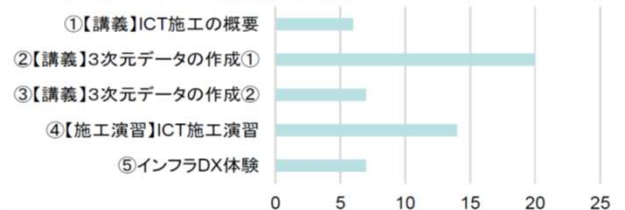
研修実施結果

今回の研修は、国総研のDXデータセンターにアクセスして行う三次元設計の演習から、現場のICT建機の施工実習までを一連で体験・習得できる実践的な内容となっており、北陸地方整備局が実施した受講者アンケートでは、研修全体の満足度は5段階評価で「4.39」と高い満足度となっています。

整備局では次年度もこうしたニーズの高い研修を複数回計画しており、当協会としても北陸ICT戦略推進委員会の一員として、建設機械施工の技術向上と人材育成の取り組みに、引き続き協力していきます。

【受講者アンケート】

Q.参考になった講義・実技について教えてください。



研修の満足度(5段階評価平均)

4.39

資料提供: 北陸地方整備局



建設技術報告会の開催概要

北陸地方における建設事業の円滑な推進を図るため、官公庁及び民間の建設会社において、新たに研究開発された新技術・新工法等を報告することにより、研究開発技術の普及を図ることを目的として開催しているものです。当北陸支部は実行委員会の構成機関として運営に参加しています。

報告会の開催方式は、令和2年度に新型コロナウイルス感染対策として、オンデマンド配信によるWEB方式を採用して以降、DX及び働き方改革の推進として毎年、同方式で開催されています。

令和6年度は、令和7年1月10日～1月31日までの土日を含む22日間で終日視聴可能で、1題ずつの視聴もできるため、時間の都合に合わせて聴講できるものとなっており、期間内で956名が聴講されました。

発表課題は22題となり、当支部の会員企業からも7社から7題の発表がありました。

技術報告内容

テーマ

- ① 生産性向上、インフラ分野のDX ② 社会資本の的確な維持管理・更新
③ 雪に強い地域づくり ④ 自然災害からの安全確保
⑤ 環境の保全と創造 ⑥ その他

令和6年度 建設分野の新技術・新工法の報告会

建設技術 報告会

開催期間
令和7年
1月10日^金～31日^土

オンデマンド配信

～建設分野に関する新技術・新工法などを発表します～

聴講者募集

昨年度に引き続き、**オンデマンド配信にて実施**します。

令和6年	令和7年
募集期間 11月20日	募集期間 ～1月9日
募集定員 1,000名	

聴講無料

本報告会は、(一社)全国土木施工管理技士会連合会の継続学習制度(CPDS)認定プログラム[935543(5ユニット)]です。また、(一社)建設コンサルタント協会CPD(継続教育)は、受講証明書を発行します。

主催：北陸地方建設事業推進協議会 令和6年度「建設技術報告会」実行委員会

- 北陸地方建設院／新潟県／富山県／石川県／福井県
- 東日本建設院（株）利根支店／宇都宮建設院（株）金沢支店
- (一社)日本建築師協会北陸支部／(一社)日本道路建設学会北陸支部
- (一社)新潟県建築士会／(一社)山梨県建築士会／(一社)石川県建築士会
- (一社)機動センターアップ会北陸支部／(一社)日本機械工業会北陸支部／(一社)建設モノクワート製品技術協会
- (一社)フレックスシステム・ネットワーク建設事業北陸支部／北陸PCの電気技術協会／(一社)新潟県電気技術協会
- (一社)新潟県建設技術センター北陸出張所兼北陸支部／(一社)日本硬質床舗装北陸支部
- (一社)北陸地域づくり協会／(一社)日本電業建設協会北陸支部

申込はこちら

<https://www.kensetsu-houkokukai.info>

北陸地方建設事業推進協議会 令和6年度「建設技術報告会」実行委員会
 (独立行政法人 北陸地方整備局 北陸府県事務管内)
 建設・経路情報研究会（長野県）、施工課室・経路設備部、経路環境部
〒250-0292 長野県上田市大町三丁目2番地 TEL.026-229-2111 E-ken@kensetsu-houkokukai.hokokai-thru.ne.jp

問い合わせ先

No.	テーマ	報 告 論 文	発表会社名	支部会員
1	①	海洋観測ドローン(Penta-Ocean Vanguard-DA)の開発	五洋建設株式会社	
2	①	WIT-ec-CPT(電気伝導率コーン)によるセメント系地盤改良の品質確認	若築建設株式会社	
3	①	プレキャスト上部工の鉄骨差込み接合技術「SFIジョイント工法」	東亜建設工業株式会社	
4	①	山岳トンネルにおける3D-LiDARを用いた計測技術各種	大成建設株式会社	
5	①	AI物体検出を活用した消雪パイプ点検業務の安全性向上への取り組み	株式会社興和	○
6	①	自己充填覆工構築システム	佐藤工業株式会社	○
7	①	コンクリート打設統合管理システムの開発	株式会社奥村組	
8	①	CO2吸収コンクリートの技術を用いた建設用3Dプリンティング	鹿島建設株式会社	
9	①	ICT土工・舗装品質管理システム「AtlasX」の開発	前田建設工業株式会社	
10	②	橋梁レベリング層用グースアスファルト混合物『eグース・スーパー』	大林道路株式会社	
11	②	高浸透性改質アスファルト乳剤『プライムファイン』	東亜道路工業株式会社	○
12	②	プレキャスト床版によるPC 合成桁の床版取替技術	株式会社大林組	
13	②	亜硝酸リチウムを用いたASR補修技術	極東興和株式会社	
14	②	水道管(鋼管)専用の改築推進工法(バルリプレイス工法)の開発	真柄建設株式会社	○
15	②	STマイクロパイルを用いた基礎補強技術	極東興和株式会社	
16	④	S・MIX工法～硬質地盤・低変位に対応した深層混合処理工法～	あおみ建設株式会社	
17	④	プレキャスト版を採用したトンネルインバートの製造・施工報告	日本サミコン株式会社	○
18	④	災害廃棄物処理計画・処理実行計画作成支援システムの開発	株式会社奥村組	
19	⑤	環境対策型作業船「越後9000」の脱炭素化に向けた取り組み	株式会社本間組	
20	⑤	舗装性能向上に資する廃PETの有効活用について	福田道路株式会社	○
21	⑤	未利用バイオマスを有効活用することで炭素低減できる舗装技術	日本道路株式会社	○
22	⑤	建設発生土を活用した地盤改良工法「リソイルPro工法」	株式会社不動テトラ	

除雪車の運転操作上達のかんどころ(改訂)



経験者から学ぶ・・・除雪車の運転操作上達のかんどころ

当支部では、道路除雪作業の経験が少ない者に対する除雪オペレータ教育や除雪作業全般に係る安全確保を目的として、「経験者から学ぶ・・・除雪車の運転操作上達のかんどころ」を平成23年に第1版を作成しました。

発行以降、一部の除雪車で仕様の変更や機能改善が実施され、当該除雪車の普及が図られてきたこと、また、作成から10年以上が経過し、内容の見直しや拡充が必要となったことから、令和6年9月に「経験者から学ぶ・・・除雪車の運転操作上達のかんどころ(改訂版)」を作成し、当支部ホームページにて公開しました。

幹線国道に配備される車道用除雪車を対象とした「運転操作のかんどころ」のほか、除雪オペレータ

として認識すべき安全施工上の注意事項を、わかりやすく記述した内容としています。

除雪車の規格、機能が異なる地方自治体の除雪作業に従事するオペレータにも、参考となる内容になっています。

近年、1人乗り仕様の除雪車の導入やオペレータ不足による1人乗務も余儀なくされていることなどから、現場作業を通じて、熟練オペレータの除雪技術を若手オペレータに伝承する機会が減少する傾向にあります。

本資料の活用により、除雪車の運転操作技術の向上及び次世代への技術伝承、道路除雪作業の持続的発展の一助となることを期待するものです。

主な改訂箇所(初版→改訂版)

全 般	除雪作業に全般に係る留意事項は、時系列順に整理し、記述した。
除雪トラック・除雪グレーダ	効率的な路面整正を実施するための切削角操作「刃研ぎ」を加筆した。
除雪グレーダ	カッティングエッジの片減り防止について、具体的な押付力を示し、詳述した。
ロータリ除雪車	除雪距離(走行変速段)、投雪距離(作業変速段)、除雪量の関係を図示、項目別に詳述した。
凍結防止剤散布車	腐食防止に対する日常管理、湿潤式散布の施工上の留意事項を加筆した。
小形除雪機	当支部発行の「歩道除雪機械安全施工マニュアル ハンドガイド除雪機編」(R4.11)によるものとし、内容から除外した。

経験者から学ぶ・・・除雪車の
運転操作上達のかんどころ
(改訂版)

2024年(令和6年)9月

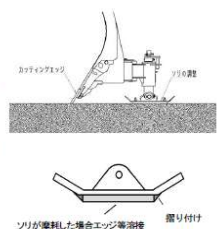
一般社団法人 日本建設機械施工協会 北陸支部

5. 除雪車の運転操作

5. 1 除雪トラック

(1) セッティングのポイント

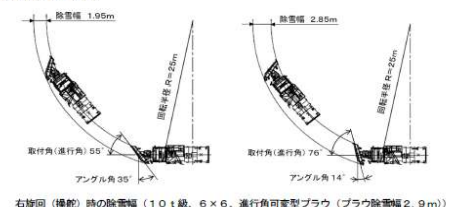
- ① スノーブラウのソリは、カッティングエッジと同じ高さに調整する。
- ② ソリを利かせ過ぎると、ソリの摩耗、減りが早くなる。
- ③ ソリは、純正品の使用を基本とする。摩耗部に使用済みのカッティングエッジを活用し、溶接補修の場合は、路面の段差に引っ掛からないように、端部の面取り、摺り付けを行う。



(2) 運転操作のポイント

1) スノーブラウ

- ① スノーブラウは衝撃などに比較的弱いので、マンホールの蓋や縁石、その他構造物に接触しないよう、道路状態を認識し、運転操作する。
- ② 雪質にもよるが、一般的に作業速度は30~40km/hと速く、速いほど飛雪距離が長くなるため、作業速度やブラウ角度を調整し、人車や歩行者に対する飛散に注意する。
- ③ 狭いトンネル内などでは、スノーブラウの取付角を小さくし、対向車に十分注意する。
- ④ アンダリング機能を持つスノーブラウでは、右カーブではブラウの取付角を大きく、左カーブではブラウの取付角を小さくすると、除雪幅を確保しながら走行できるため、効果的な除雪が可能となる。



右旋回(操舵)時の除雪幅(10t級、6×6、進行角可変型ブラウ(ブラウ除雪幅2.9m))

-4-

内容の一部



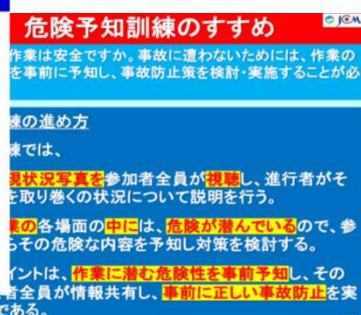
道路除雪講習等の講師派遣

毎年、地方自治体や他機関等からの依頼を受け、除雪講習等への講師派遣を行っております。

派遣先は北陸地方に限らず、関東方面へも支援を実施しており、今年度はJCMA本部が開催する「関東甲信地区道路除雪講習会」のほか、5回の研修・講習会に講師を派遣しました。

講義内容は、北陸で実施している除雪講習会の資料を基本としつつ、講義時間や地域によりアレンジした内容としております。

また、道路除雪に限らず、建設機械に伴う労働災害防止の講義についての依頼もあり、当支部の部会委員の中から可能な限り、講師派遣を実施しているところです。



実施日	依頼元	研修・講習会名	受講者数	研修・講習場所
令和6年10月29日（火）	JCMA 本部	関東甲信地区道路除雪講習会	68名	機械振興会館＋オンライン
令和6年10月31日（木）	日光建設業協同組合	日光市除雪・維持管理講習会	41名	栃木県日光市 大沢公民館
令和6年11月12日（火）	新潟市土木部 土木総務課	新潟市車道除雪オペレータ研修	79名	新潟テルサ
令和6年11月14日（木）	国土交通大学校	国土交通省施工企画研修 （基本コース）	26名	東京都小平市 国土交通大学校
令和6年11月15日（金）	妙高市建設課	除雪作業に関する安全講習会	71名	妙高市勤労者研修センター
令和7年 2月27日（木）	日建連北陸支部	建設工事に伴う交通事故防止講習会	80名	新潟県建設会館



新潟市車道除雪オペレータ研修
（講師：穂苅技師長）



妙高市除雪作業に関する
安全講習会での講義

国土交通省施工企画研修での講義

道路除雪機械整備実態調査



道路除雪機械整備実態調査 ～アンケートの一次集約～

道路除雪の主力である除雪機械のメンテナンスを行う整備事業者において、整備要員の不足や働き方改革等によりメンテナンス体制の持続可能性が懸念されます。

そのため、北陸地方整備局管内における除雪機械の整備を担当する事業者を対象に、整備需要や整備要員等の実態を把握し、除雪機械整備業の持続的発展に資する基礎資料を得ることを目的として、調査を実施したものです。

調査は、北陸地方整備局が所有する除雪機械の整備作業受注者を対象として、当支部会員及び非会員の整備業31社に対してアンケート調査を依頼しました。

その結果、18社（回答率58%）、23事業場（道

路運送車両法に規定する地方運輸局長の認証を受けた工場）から回答が得られました。

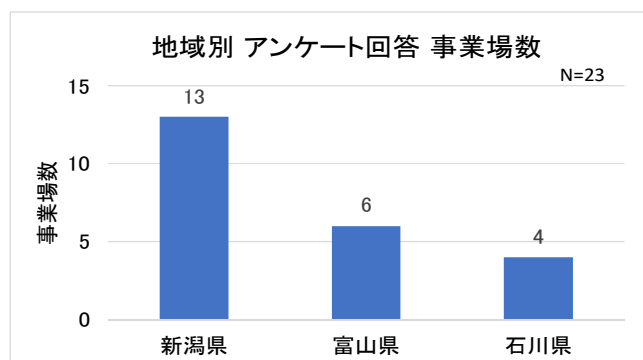
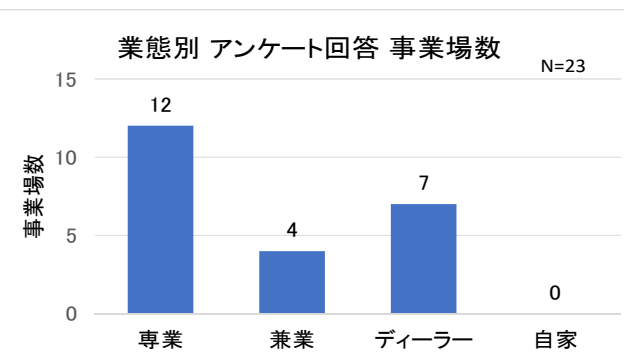
業態別、地域別のアンケート回答事業場数は下図のとおりです。

収集データの精査、過年度（概ね5年前(平成30年度)）と現状（令和5年度）の傾向分析を行うとともに、人口減少、少子高齢化により担い手の確保が困難となる中、限られた労働力で適切な機械整備を持続的に実施するため、管理者、使用者、機械メーカー、整備業者に求められる課題（事項）の抽出と整理を行う観点で、平成7年度にとりまとめを行う計画としています。

とりまとめ結果は支部ホームページで公表する予定としております。

【アンケート項目】

1. 事業場の概要
2. 整備入庫台数
3. 整備関係従業員数
 - 3-1 整備要員（工員）の年齢構成
 - 3-2 整備要員（工員）の実務経験年数
 - 3-3 整備要員（工員）の時間外労働時間
 - 3-4 整備要員（工員）の勤務形態
 - 3-5 冬期間の整備要員（工員）の体制
4. 除雪機械整備台数
 - 4-1 除雪機械の整備に関する課題
 - 4-2 外注整備の理由
 - 4-3 整備の効率化・省力化の取り組み
 - 4-4 代替車両の必要性
5. レバーレート
6. その他



除雪グレーダの整備（コマツ富山）



凍結防止剤散布車の整備（三越）



路面消・融雪施設等設計要領 改訂編集委員会の設置

「路面消・融雪施設等設計要領（最終改訂平成20年5月）」は、昭和56年に初版が発刊されて以降、雪寒地域で消・融雪施設を整備する技術者にとっての必携の技術書として活用されてきています。

近年、短期集中的な大雪により交通障害が発生する事象が頻発しており、これまで消・融雪の対象としてこなかった交通障害箇所への消・融雪施設の導入が進められるなど、新たなニーズが高まりつつあります。一方、既存設備でも、ゲリラ豪雪にも対応しうる消・融雪能力の向上を期待する声も高まっていますが、現行の設計要領では地域ごとの差異や、近年の気候変動に対応していないという課題が懸念されるものとなっています。

また、現在では全国各地の時間降雪量がデータ化されており、消・融雪施設にも気象データに基づく

統計処理によって設計降雪量が設定可能な状況となっています。

このような背景を踏まえ、気象情報の収集活用、大雪にも対応できる最新の設計降雪量、用途ごとの融雪目標レベルの考え方などを整理しつつ、融雪関連技術の開発動向も踏まえた改訂を行うため、「路面消・融雪施設等設計要領改訂編集委員会」を設置し、改訂に向けた検討に着手しました（委員長:長岡技術科学大学 教授 高橋 修(当協会北陸支部長)）。

令和7年度に改訂作業を完了し、改訂版を刊行する計画としています。

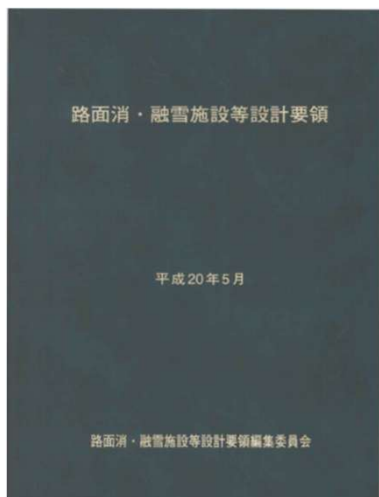
なお、本編集委員会は、当協会及び(一社)北陸融雪技術協会並びに(一社)新潟県融雪技術協会の3協会協働で取り組みを実施するものです。

◆編集委員会体制

役 職	所 属
委員長	長岡技術科学大学 副学長 環境社会基盤系 教授
委 員	北陸地方整備局 道路情報管理官
"	" 道路管理課長
"	" 施工企画課長
"	" 北陸技術事務所 副所長
"	新潟県土木部 道路管理課長
"	富山県土木部 参事・道路課長
"	石川県土木部 道路整備課長
"	福井県土木部 道路保全課長
"	新潟市土木部 土木総務課長
"	東日本高速道路(株) 新潟支社 道路事業部事業統括課長
"	中日本高速道路(株) 金沢支社 環境・技術課長
"	(公社)雪センター 監事
"	(一社)北陸融雪技術協会 会長
"	(一社)新潟県融雪技術協会 会長

◆編集幹事会体制

役 職	所 属
幹事長	長岡技術科学大学 機械系教授
幹 事	北陸地方整備局 道路構造保全官
"	" 施工企画課長補佐
"	" 北陸技術事務所 雪害対策官
"	" 北陸技術事務所 雪害防災減災課長
"	新潟県土木部 道路管理課雪寒事業係副参事
"	富山県土木部 道路課雪対策係長
"	石川県土木部 道路整備課雪寒・安全対策グループ課長補佐
"	福井県土木部 道路保全課雪・安全対策グループ主任
"	新潟市土木部 土木総務課 主幹
"	東日本高速道路(株) 新潟支社 道路事業部事業統括課長代理
"	中日本高速道路(株) 金沢支社 品質検査課長代理
"	(公社)雪センター 監事
"	(一社)日本建設機械化協会 北陸支部 施工技術部会長
"	(一社)北陸融雪技術協会 技術委員長
"	(一社)新潟県融雪技術協会 技術委員長
(事務局)	北陸地方整備局 施工企画課 機械設備係長
	(一社)日本建設機械施工協会 北陸支部事務局長
	(一社)北陸融雪技術協会 監事
	(一社)北陸融雪技術協会 技術副委員長
	(一社)新潟県融雪技術協会 無散水部会長
	(一社)新潟県融雪技術協会 事務局長



路面消・融雪施設等設計要領
(現行は平成20年5月改訂版)



第1回 路面消・融雪施設等設計要領 改訂編集委員会・幹事会
合同会議(令和7年1月21日 北陸地方整備局会議室)



1級・2級検定試験／外国人試験

1級・2級建設機械施工管理技術検定

建設業法に基づく建設機械施工管理技士補（第一次検定合格者）及び建設機械施工管理技士（第二次検定合格者）になるための国家試験で、当協会は法令で定められた指定試験機関として技術検定試験を行っております。

北陸支部では北陸管内の試験会場を担当しており、第一次検定及び第二次検定〔筆記試験〕は令和6年6月16日(日)、第二次検定〔実技試験〕は8月24日(土)に実施しました。



第二次検定 実技試験 (1種;ブルドーザー)

【第一次検定・第二次検定(筆記試験) 受検者数】 令和6年6月16日(日)

朱鷺メッセ (新潟市)	1級	第一次	269			
		第二次(筆記)	20			
		小計	289			
	2級	第一次	共通	1種	2種	3種
				68	513	18
			590	4種	5種	6種
		50		10	1	
		第二次(筆記)	94			
		小計	684			
	合計		973			

【第二次検定(実技試験) 受検者数】 令和6年8月24日(土)

コマツ教習所 (小松市)	級別	のべ人数	1種	2種	3種	4種
	1級	14	4	5	0	5
	2級	44	3	33	2	6
	合計	58	7	38	2	11

建設機械施工技能実習評価試験(外国人試験)

外国人技能実習制度は、開発途上国等の青壮年労働者を一定期間日本の産業界に受け入れて、産業・職業上の技能・技術・知識を習得させ、開発途上国への技術移転を図り、その国の経済発展を担う人材育成に寄与することを目的とした制度で、当協会では、厚生労働省の承認を受け、外国人技能実習生の技能実習評価試験を、建設機械施工分野について実施しています。

受検者数の増加に伴い、令和3年度から北陸管内でも金沢市の会場で試験が実施されており、令和6年度は年5回（5・8・11・1・3月期）で計7日間の試験を実施しました。



実技試験 (締固め_8月期)

【受検者数】	級別	実施期	学科		実技			
			初回	再試験	第1類	第2類	第3類	第4類
					押土・整地	積込み	掘削	締固め
CAT北陸 教習センター (金沢市)	初 級	5月22日	(本部で実施)				(本部で実施)	
		8月22日	23	2			19	4
		11月6日	17				9	8
		11月7日	16	4			16	13
		1月15日	13	4			10	5
		3月5日	16	1			6	10
		3月6日	16	2			16	
	専門級	5月22日	(本部で実施)				(本部で実施)	
		8月22日	1				3	2
		11月6日	7				12	5
		11月7日	3				5	
		1月15日	7				11	3
		3月5日	2	3			11	2
		8月22日	1					1
	上 級	3月5日	2					2
		計	124	16			118	55



実技試験 (掘削;小型_11月期)



支部会員相互の親睦を深めるため、親睦ゴルフ大会を毎年1回開催しており、今年度は令和6年9月13日にノーブルウッドゴルフクラブ（新発田市藤塚浜）で開催しました。

今年の参加者は当初20名の予定でありましたが、開催直前2名の都合が悪くなり事務局を含めて18名にてプレーを楽しみました。

競技は例年どおり秋晴れのなか、Wペリア(12H)方式で全てのロングホール・ショートホールでドラコン賞4ホール、ニヤピン賞4ホールで実施しました。

今年度の優勝者は令和3年の親睦ゴルフ大会でホールインワンを達成されました福井コンピュータ㈱の「谷 義弘」様が見事に優勝されました。優勝者のグロス82であり、ほぼプロ級の腕前です。

親睦ゴルフ大会が毎年1回開催されていますが、参加者からは「年2回実施してはどうか」といったお声があり、普及部会にて検討していきます。また、次回のJCMA親睦ゴルフ大会には大勢の参加をお待ちしております。



■ゴルフ大会 成績表

順位	競技者名	OUT	IN	GROSS	HDCP	NET	備考
優勝	谷 義弘	41	41	82	12.0	70.0	BG賞
準優勝	松浦 正幸	44	49	93	20.4	72.6	
3 位	矢尾板 勝仁	48	41	89	15.6	73.4	
4 位	坪内 昭雄	49	45	94	19.2	74.8	
5 位	市村 幸晴	41	45	86	10.8	75.2	



スタート前の記念撮影等



優勝者の谷 義弘さん(右側)

令和6年度 支部行事一覧



総会・運営委員会

■ 令和5年度北陸支部支部監査

月 日：令和6年4月23日(火)

場 所：興和ビル 10F小会議室

出席者：支部監査役 樋口 智、二宮 康行

議 題：業務監査(支部業務全般にわたる適正
適法性について)会計監査(貸借対照表、正味財産増減計算書
財産目録の適正、適法性について)■ 令和6年度第1回運営委員会、
北陸支部第13回通常総会

月 日：令和6年5月22日(水)

場 所：新潟東映ホテル

出席者：丸山北陸支部長ほか17名(運営委員)

支部監査役2名、事務局4名

議 題：①令和5年度 事業報告に関する件
②令和5年度 決算報告に関する件
③令和6～7年度 役員に関する件
④令和6年度 事業計画に関する件
⑤令和6年度 収支予算に関する件
⑥令和6年度 永年会員・永年役員勤続表彰、
優良建設機械運転員・整備員表彰

■ 令和6年度第2回運営委員会

月 日：令和7年3月18日(火)

場 所：東映ホテル

出席者：高橋北陸支部長ほか13名(運営委員)
支部監査役1名、事務局4名議 題：①令和7年度 事業計画(案)について
②令和7年度 収支予算(案)について

企画部会関連

■ 第1回企画部会

月 日：4月23日(火)

場 所：書面審査

議 題：令和5年度事業報告、決算報告について

■ 北陸地方整備局 災害対応功労者団体 感謝状贈呈式

月 日：6月21日(金)

場 所：北陸地方整備局 4F共用会議室

出席者：高橋支部長

内 容：令和6年1月能登半島地震に対する対応

■ 北陸地方防災エキスパート運営委員会

月 日：8月8日(木)

場 所：アートホテル新潟駅前

出席者：支部事務局 堤(運営委員)

議 題：専門防災エキスパートの追加選出について
能登半島地震での対応を踏まえた今後の
活動のあり方について

■ 北陸地方整備局 災害対応功労者企業 感謝状贈呈式

月 日：11月8日(金)〔金沢会場〕

11月11日(月)〔新潟会場〕

場 所：〔金沢会場〕石川県地場産業振興センター コンベンションホール
〔新潟会場〕北陸地方整備局 4F共用会議室

対象者：支部会員企業 3社〔千代田機電(株)、(株)三越、山崎サービス(株)〕

内 容：令和6年1月能登半島地震に対する対応「北陸地方整備局との災害
協定に基づく現地支援活動(災害対策用機械整備作業)」

■ 北陸技術事務所専門防災エキスパート(機械・電通) 意見交換会

月 日：7月10日(水)

場 所：北陸技術事務所 1F大会議室

出席者：支部事務局 堤(機械班総括)ほか11名、北技職員17名

内 容：①北陸技術事務所事業概要及び災害対応事例について
②北陸地方防災エキスパートの概要と活動について
③専門防災エキスパート業務内容について
④意見交換

■ 北陸地方整備局 令和6年度 第1回機械技術研究会

月 日：9月19日(木)～20日(金)

場 所：北陸地方整備局ほか現場4箇所

参加者：(北陸地方整備局) 姫野 施工企画課長ほか18名
(北陸建設振興会議) 堤 機械技術委員長ほか6名内 容：(1日目)排水機場機械設備の設計施工・維持管理検討
・西川排水機場、鳥屋野潟排水機場の視察および意見交換
(2日目)除雪機械の維持管理整備手法の検討
・機械整備工場2か所の視察および意見交換■ (公社)全国防災協会 令和6年度災害復旧及び
災害防止事業功労者表彰式

月 日：11月11日(月)

場 所：砂防会館別館「シェーンバッハ・サボー」

出席者：高橋支部長 (代理出席:穂苅技師長)

内 容：令和6年能登半島地震対応への功労

■ 令和6年度 北陸防災連絡会議 幹事会

月 日：2月7日(金)

場 所：書面開催

参加者：104機関

内 容：各機関からの情報提供(18機関から資料提供)

■令和6年度【中級】ICT施工研修

月 日：8月27日(火)・28日(水)

場 所：北陸技術事務所(北陸インフラDX人材育成センター)

受講者：(建設企業26社より)28名

内 容：・三次元データ作成①(データの作成、出来形管理)
[1日目:福井コンピュータ、2日目:建設システム]
・三次元データ作成②(バックホウ施工データ変換)
[日本キャタビラー(+協力企業)]
・3Dマシンコントロールバックホウ操作実習
[日本キャタビラー]

■「ゆきみらい 2025in 上越」第1回実行委員会

月 日：7月31日(水)

場 所：上越市役所 4F会議室+WEB

出席者：支部事務局 浦澤 (WEB 参加)

内 容：①「ゆきみらい 2025in 上越」実行委員会規約について
②実施内容(案)、役割分担(案)について
③予算(案)、会計処理要領(案)について
④今後のスケジュールについて

■ゆきみらい 2025in 上越「除雪機械展示・実演会」出展者会議

月 日：12月3日(火)

場 所：新潟県上越市 リージョンプラザ上越 会議室

参加者：〔出展予定者〕10社15名(2社欠席)
〔事務局〕本部水口部長ほか5名

内 容：・ゆきみらい 2025in 上越実行委員会資料について
・前回までの開催状況について
・出展者状況、担当者連絡先等について
・会場事前調査結果及びブース配置案、工程について
・搬入搬出の各社計画中間報告について
・その他

■ゆきみらい 2025in 上越実行委員会 第2回事務局会議

月 日：1月8日(水)

場 所：北陸地方整備局 4F 会議室

参加者：支部事務局 浦澤

内 容：・各イベントの進捗状況報告
・変更予算について
・スケジュールについて
・その他

■けんせつフェア北陸 2025in 新潟(仮称) 準備会

月 日：12月25日(水)

場 所：北陸地方整備局 4F 会議室+WEB

出席者：北陸支部 浦澤 (WEB 参加)

議 題：けんせつフェア北陸 2025in 新潟(仮称)について
・実行委員会規約(案)について
・実施計画(案)について
・出展募集要領(案)について
・予算計画(案)について

■「ゆきみらい 2025in 上越」第1回事務局会議

月 日：7月11日(木)

場 所：北陸地方整備局 4F 会議室+WEB

出席者：支部事務局 浦澤、堤

内 容：①「ゆきみらい 2025in 上越」実行委員会規約について
②実施内容(案)、役割分担(案)について
③予算(案)、会計処理要領(案)について
④今後のスケジュールについて

■「ゆきみらい 2025in 上越」実行委員会事務局打合せ

月 日：11月29日(金)

場 所：北陸地方整備局 4F 会議室

出席者：支部事務局 浦澤

内 容：・各実施機関の進捗状況と今後の予定について
・調整事項について

■令和6年度 第2回 企画部会

月 日：12月25日(水)

場 所：興和ビル 10F 大会議室

出席者：支部企画部会 穂苅部会長ほか16名

議 題：ゆきみらい 2025in 上越「除雪機械展示・実演会」について
・ゆきみらい実行委員会資料、チラシ、ホームページについて
・出展者応募状況、展示ブース計画、各社展示計画について
・実演計画について
・今後のスケジュール、搬入搬出計画、会場整備計画について
・会場スタッフ計画について

■ゆきみらい 2025in 上越 除雪機械展示・実演会 《開催》

月 日：1月30日(木)～30日(金)

場 所：新潟県上越市 リージョンプラザ上越駐車場 特設会場

来場者：(2日間合計) 2,370人

内 容：・出展ブース数 12出展者〔民間11社+北陸地方整備局〕
(うち支部会員4社)

・展示車両・機器合計 25台
・展示車両のうち5台により、実演コースの雪山における実演を実施

■けんせつフェア北陸 2025in 新潟 屋外展示関係打合せ

月 日：2月25日(火)

場 所：北陸支部事務室

出席者：北陸地方整備局施工企画課 小林補佐、
北陸技術事務所 以倉副所長

内 容：・けんせつフェア北陸 2025in 新潟 屋外展示
会場計画(案)について
・出展者への展示案内(案)について

■令和6年度 第3回 企画部会

月 日：3月13日(木)

場 所：興和ビル 10F 大会議室

出席者：穂苅企画部会長ほか19名

内 容：・令和6年度 事業報告(見込み)について
・令和6年度 決算報告(見込み)について
・令和7年度 事業計画(案)について
・令和7年度 収支予算(案)について
・令和7年度 優良建設機械運転員・整備員表彰について
・北陸支部第14回総会に向けての計画について



普及部会関連

■講演会《支部総会の特別講演》

月 日：5月22日(水)
場 所：新潟東映ホテル
講演者：北陸地方整備局企画部長 信太 啓貴 氏
演 題：北陸けんせつミライ2024

■令和6年度 第1回普及部会

月 日：6月26日(水)
場 所：興和ビル 10F大会議室
出席者：支部普及部会 本間部会長ほか13名
内 容：①除雪機械安全施工技術講習会について
②ニイガタ除雪の達人選手権
③建設技術報告会について
④現場見学会について
⑤親睦行事の実施について

■「建設技術報告会」第1回実行委員会

月 日：6月10日(月)
場 所：北陸技術事務所 1F大会議室
出席者：支部普及部会 樋口委員
内 容：①「建設技術報告会」実行委員会規約について
②令和6年度「建設技術報告会」実施計画(案)について
③令和6年度「建設技術報告会」予算(案)について

■建設技術報告会《開催》

月 日：1月10日(金)～31日(金)
場 所：オンデマンド配信(Web開催)
発表数：1. 生産性向上、インフラ分野のDX 9題
2. 社会資本の的確な維持管理・更新 6題
3. 雪に強い地域づくり 0題
4. 自然災害からの安全確保 3題
5. 環境の保全と創造 4題
6. その他 0題
計 22題

■北陸地方建設技術報告・広報委員会

月 日：3月17日(月)
場 所：北陸技術事務所 1F会議室
出席者：樋口普及部会委員(代理:浦澤事務局長)
内 容：・令和6年度「建設技術報告会」実施報告について
・令和6年度「建設技術報告会」収支決算報告について
・「北陸地方建設技術報告・広報委員会」規約(案)について
・令和7年度「建設技術報告会」開催方針(案)について
・令和7年度「北陸の建設技術」実施方針(案)について

■令和6年度除雪機械安全施工技術講習会

メーカー講師打合せ(ロータリ・散布車)

月 日：7月23日(火)
場 所：北陸支部事務室
出席者：ロータリ除雪車・凍結防止剤散布車メーカー2社2名
内 容：・令和6年度講習会の計画について
・講義担当日程の調整について
・講義内容の調整について

■令和6年度除雪機械安全施工技術講習会

メーカー講師打合せ(グレーダ・ドーザ)

月 日：7月29日(月)
場 所：北陸支部事務室
出席者：除雪グレーダ・除雪ドーザメーカー2社2名
内 容：・令和6年度講習会の計画について
・講義担当日程の調整について
・講義内容の調整について

■除雪機械安全施工技術講習会《開催》

月 日：10月3日(木)～30日(水)
場 所：新潟・富山・石川県内の7会場にて10回開催
受講者：計960名

■令和6年度 JCMA北陸支部親睦ゴルフ大会

月 日：9月13日(金)
場 所：ノーブルウッドゴルフクラブ
参加者：北陸支部会員18名

施工技術部会関連

■建設機械整備技術委員会 計画打合せ

月 日：6月7日(金)
場 所：北陸支部事務室
出席者：支部施工技術部会 水澤整備技術委員長ほか3名
内 容：①整備標準作業工数表(除雪機械編)の改訂の必要性等について
②その他今年度の活動方針について

■建設機械整備技術委員会 整備局打合せ

月 日：7月19日(金)
場 所：北陸地方整備局 5F企画部打合せ室
出席者：北陸地方整備局 姫野施工企画課長ほか6名
内 容：①整備体制等検討のこれまでの経緯について
②機械整備契約仕様書の統一、書類の簡素化について(意見交換)
③除雪機械整備実態調査の計画について

■令和6年度 施工技術部会 第1回建設機械整備技術委員会
月 日：7月23日(火)
場 所：興和ビル 10F大会議室
出席者：支部施工技術部会 水澤整備技術委員長ほか14名
内 容：①令和6年度事業計画について
②整備標準作業工数表(除雪機械編)の改訂の必要性等について
③点検整備における効率的維持管理について
④除雪機械整備実態調査について

■令和6年度 第1回 北陸ICT戦略推進委員会
月 日：7月9日(火)
場 所：書面開催
参加者：支部施工技術部会 樋口 ICT 推進委員長
内 容：①令和6年度 北陸ICT戦略推進委員会 規約について
②令和5年度 ICT の普及・拡大に向けての取組結果及び令和6年度計画報告について

■令和6年度 第2回 北陸 ICT 戦略推進委員会
月 日：2月19日(水)
場 所：北陸技術事務所 1F 会議室
出席者：支部施工技術部会 樋口 ICT 推進委員長
内 容：①令和6年度取組結果・令和7年度取組計画報告(北陸地方整備局)について
②ICT 関連講習会等 開催案内の整備局 HP 掲載について
③令和6年度取組結果・令和7年度取組計画報告(推進委員会各機関)について

■路面消・融雪施設設計要領改訂 打合せ
月 日：6月14日(金)
場 所：北陸地方整備局 5F企画部打合せ室
出席者：北陸地方整備局 姫野施工企画課長ほか8名
内 容：①これまでの改訂経緯について
②改訂方針、改定内容について
③改訂体制、スケジュールについて

■路面消・融雪施設等設計要領改訂「準備会」
月 日：9月30日(月)
場 所：新潟県長岡市(株)興和 中越支店会議室
出席者：高橋北陸支部長 ほか18名(WEB 参加含む)
議 題：1 改訂の経緯に関する説明
2 改訂方針(案)について
3 改訂体制(案)について
4 改訂スケジュール(案)について

■第1回路面消・融雪施設等設計要領改訂編集委員会・幹事会合同会議
月 日：1月21日(火)
場 所：北陸地方整備局 4F 会議室
参加者：高橋委員長ほか委員13名、上村幹事長ほか幹事15名、事務局6名
内 容：・設立趣意(案)について
・路面消・融雪施設等設計要領編集委員会の組織について
・路面消・融雪施設等設計要領の改訂について
・その他

■除雪機械整備実態調査〈アンケート調査〉
月 日：8月29日(木)～12月25日(水)
対 象：北陸地方整備局の除雪機械を整備している30社
内 容：各事業場における除雪機械の年間整備台数、整備工員数などについて、令和5年度及び概ね5年前との比較をアンケートにより実態調査
※次年度に解析予定
回答数：18社23事業場より提供

■北陸地方整備局 第1回新技術活用評価会議
月 日：6月19日(水)
場 所：北陸地方整備局 4F共用会議室
出席者：支部施工技術部会 星野部会長
内 容：(1)事後評価 3技術
(2)有用な技術の選定

■北陸地方整備局 第2回新技術活用評価会議
月 日：12月17日(火)
場 所：北陸技術事務所 1階大会議室
出席者：支部施工技術部会 星野部会長
内 容：(1)事後評価 3技術
(2)有用な技術の選定
(3)令和7年度推奨技術候補の選定

■北陸地方整備局 第3回新技術活用評価会議
月 日：3月6日(木)
場 所：北陸技術事務所 1階大会議室
出席者：支部施工技術部会 星野部会長
内 容：(1)事後評価 3技術
(2)有用な技術の選定

■路面消・融雪施設等設計要領改訂「第1回編集会議」
月 日：11月25日(月)
場 所：新潟県上越市「直江津学びの交流館」多目的ホール
出席者：各ワーキンググループ長ほか、18名(WEB 参加含む)
議 題：・編集委員会・幹事会について
・改訂目次案の説明
・各ワーキング G 方針説明
・各ワーキング実施方針調整

■路面消・融雪施設等設計要領改訂「第1回事務局会議」
月 日：12月11日(水)
場 所：北陸地方整備局 5F 会議室
参加者：北陸地方整備局 施工企画課小林補佐ほか6名
内 容：・編集委員会・幹事会合同開催について
・委員・幹事の委嘱について
・会議資料について
・その他

■消・融雪施設等設計要領改訂ワーキンググループ作業説明会
月 日：2月5日(水)
場 所：興和ビル 6F 会議室+WEB
参加者：ワーキング委員 22名(WEB 参加含む)
内 容：①1/21 改訂編集委員会・幹事会合同会議の概要
②今後の作業打合せ



雪氷部会関連

■令和6年度 第1回雪氷部会

月 日 : 7月23日(火)
場 所 : 興和ビル 10F大会議室
出席者 : 支部雪氷部会 八橋部会長ほか12名
内 容 : ①令和5年度実施報告について
②令和6年度事業計画について
③「除雪車運転操作上達のかんどころ」改訂について
④除雪講習会及び除雪講習支援について

■令和6年度 関東甲信地区道路除雪講習会【講師派遣】

月 日 : 10月29日(火)
場 所 : 機械振興会館+オンライン講習
派遣講師: 穂苅技師長
講義内容: 道路除雪の施工法について

■日光市 令和6年度除雪・維持管理講習会【講師派遣】

月 日 : 10月31日(木)
場 所 : 栃木県日光市 大沢公民館
受講対象者: 日光市除雪協力業者、市建設業団体等
派遣講師: 穂苅技師長
講義内容: 道路除雪施工方法、安全対策について

■新潟市 令和6年度車道除雪オペレータ研修【講師派遣】

月 日 : 11月12日(火)
場 所 : 新潟テルサ 大会議室
受講対象者: 新潟市除雪協力業者の若手オペレータ
派遣講師: 穂苅技師長
講義内容: 道路除雪施工方法、安全対策について

■経験者から学ぶ・・・除雪車の

運転操作上達のかんどころ(改訂版)
《支部ホームページに掲載》
月 日 : 8月26日(月)～

■国土交通大学校 令和6年度施工企画研修(基本コース) 【講師派遣】

月 日 : 11月14日(木)
場 所 : 国土交通大学校
受講対象者: 国土交通省の機械系職員
派遣講師: 穂苅技師長
講義内容: 維持用建設機械(除雪機械)について

■妙高市 令和6年度除雪作業に関する安全講習会【講師派遣】

月 日 : 11月15日(金)
場 所 : 新潟県妙高市 勤労者研修センター 大研修室
受講対象者: 市道の除雪作業従事者(除雪責任者、運転手、助手)
派遣講師: 穂苅技師長
講義内容: 除雪機械の作業方法及び点検方法について

■日建連北陸支部 建設工事に伴う交通事故防止講習会 【講師派遣】

月 日 : 2月27日(木)
場 所 : 新潟県建設会館 5F 会議室
受講対象者: 日建連会員 80名
派遣講師: 建設機械整備技術委員 高橋慎一
(日本キャタピラー合同会社)
講義内容: 建設機械による労働災害の事例と対策

その他

■建設機械施工管理技術検定試験〔筆記試験〕

月 日 : 6月16日(日)
場 所 : 朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター
受検者 : 1級第一次検定:269名
1級第二次検定(筆記):20名
2級第一次検定:共通:590名
第1種:68名 第2種:513名 第3種:18名
第4種:50名 第5種:10名 第6種:1名
2級第二次検定(筆記):94名

■建設機械施工管理技術検定試験〔実技試験〕

月 日 : 8月24日(土)
場 所 : 石川県小松市 コマツ教習所栗津センタ
受検者 : 1級第二次検定(実技) 14名
第1種:4名 第2種:5名 第4種:5名
2級第二次検定(実技) 44名
第1種:3名 第2種:33名 第3種:2名
第4種:6名

■建設機械施工 外国人技能実習評価試験(8月期)

月 日 : 8月22日(木)
場 所 : 石川県金沢市 CAT 北陸教習センター
受検者 : 学科 26名(初級、専門級)
実技 29名(掘削(小、大)、締固め)

■建設機械施工 外国人技能実習評価試験(11月期)

月 日 : 11月6日(水)・7日(木)
場 所 : 石川県金沢市 CAT 北陸教習センター
受検者 : 学科 47名(初級、専門級)
実技 55名(掘削(小、大)、締固め)

■建設機械施工 外国人技能実習評価試験(1月期)

月 日 : 1月15日(水)
場 所 : 石川県金沢市 CAT 北陸教習センター
受検者 : 学科 24名(初級、専門級)
実技 29名(掘削(小、大)、締固め)

■建設機械施工 外国人技能実習評価試験(3月期)

月 日 : 3月5日(水)・6日(木)
場 所 : 石川県金沢市 CAT 北陸教習センター
受検者 : 学科 42名(初級、専門級、上級)
実技 47名(掘削(小、大)、締固め)



新刊技術図書のご案内

販 売 図 書 名	発行年月	販売価格 (非会員) 税込(円)	販売価格 (会 員) 税込(円)	備 考
◆令和7年度版 建設機械等損料表	R7.4	9,680	8,228	国土交通省“建設機械等損料算定表”の内容に準拠 ・機械経費・損料等に関する通達・告示等を掲載 ・燃料・電力消費率を掲載
◆日本建設機械要覧 2025年版	R7.3	53,900	45,100	良好な使用実績を示した国産および輸入の各種建設機械、作業船、工事用機械等の主要緒元、性能、特長等の技術的事項、写真等のデータを網羅
◆建設機械施工ハンドブック(改訂5版)	R6.12	13,200	11,220	ある程度技術知識のある人が建設機械及びそれを用いた建設施工の基礎と実践的な方法を学ぶ書
◆橋梁架設工事の積算 令和6年度版	R6.5	12,100	10,285	別冊 橋梁補修・補強工事 積算の手引きがセット
◆大口径岩盤削孔工法の積算 令和6年度版	R6.5	6,600	5,610	
◆よくわかる建設機械と損料 2024	R6.5	7,260	6,171	建設機械等損料表の解説書
◆建設機械整備標準作業工数表 (除雪機械編) 令和元年度版	R1.7	8,800	6,600	・排出ガス対策規制強化による機械の見直し ・除雪グレーダの機種統合 ・除雪ドーザの生産中止や事業譲渡による見直し

【北陸支部参考資料】 ※支部ホームページの「文献・報告書」より無料ダウンロードできます。

参 考 資 料 名	発行年月	備 考
◇経験者から学ぶ除雪車の運転操作上達のかんどころ	R6.9	本資料は、道路除雪作業の経験が少ない人々への除雪オペレータ教育や安全確保の講習等に活用していただくことを念頭に教本としてまとめたもの。
◇道路除雪オペレータ実態調査報告 令和4年度版	R5.9	雪国の道路除雪を支える除雪機械のオペレータの経年変化を把握するため、北陸地方整備局、新潟県、富山県、石川県の道路除雪受注者を対象に、平成3(1991)年度から概ね5年毎にアンケート調査を実施。

令和7年度の主な行事予定

行 事 予 定	時 期	開 催 場 所
●令和7年度 北陸支部通常総会	R7.5.27	東映ホテル
●令和7年度 建設機械施工管理技術検定試験 (第一次検定、第二次検定(筆記))	R7.6.15	朱鷺メッセ(新潟コンベンションセンター)
●令和7年度 建設機械施工管理技術検定試験 (第二次検定(実技))	R7.8下旬	コマツ教習所(榎栗津センタ(小松市))
●けんせつフェア北陸2025 in新潟	R7.10.1～10.2	新潟市産業振興センター
●令和7年度 除雪機械安全施工技術講習会	R7.10月上旬～下旬	新潟・富山・石川県内で7会場を予定
●令和7年度 建設技術報告会	R8.1 予定	WEBオンデマンド配信
●令和7年度 外国人技能評価試験(学科及び実技試験)	5・8・11・1・3月の5回 予定	CAT北陸教習センター(金沢市)

会員情報(会員数及び新入会員)

令和6年度 会員数及び新入会員

1. 令和7年3月末現在の会員数(業種別)

業 種 別	会員数
製 造 業	16社
建 設 業	66社
商 事 会 社	1社
機 械 整 備 業	28社
レ ン タ ル 業	6社
そ の 他	14社
計	131社

2. 令和6年度の新入会員

	会 社 名	指定代表者名	住 所	入会日	業種	電話番号	FAX
1	中日本高速オートサービス(株) 北陸営業所	北陸営業所長 鈴木 靖亀	金沢市神野町東202 金沢トラクターミナル2F	令和6年12月19日	機械 整備業	076-256-3150	076-256-3151
2	(株)イクシス 甲信越拠点	甲信越拠点長 沢口 敦	長野市栗田2009 ビルディング・スリーパー1F	令和7年3月18日	その他	026-217-6407	026-217-6408

編 集 後 記

JCMA北陸支部だより「あかしや通信No.43」をお届けします。

いくつかの記事は担当委員に作成してもらっていますが、それ以外の殆どは事務局一人で作成により構成と執筆を行っていますので、誤字や読みづらい箇所も多々あるかと思いますが、大目に見ていただければと存じます。

令和6年度の事業を振り返ってみますと、特筆すべきは今年1月末に開催された「ゆきみらい2025in上越=除雪機械展示・実演会=」が挙げられるかと思いますが。前回の北陸開催は新型コロナの影響により2021を1年延期し、翌2022はまん延防止措置により、結局現地開催は中止となったため、北陸地域では今回が実に7年ぶりの会場開催となりました。開催期間中は北陸の冬特有の強風とみぞれに見舞われる状況でしたが、ご参加いただいた皆様からの

協力と温かいご声援により、無事終わることができましたことは、感謝の念に堪えません。余談ですが、開催後の翌週以降2月に入ってから、全国的に大雪による幹線道路の予防的通行止や不要不急の出控えを促すような気象状況が相次いだ冬となったことはご承知のとおりです。

さて、令和7年度の事業もこれまでと同様に会員の皆様のお力を借りなければならないものばかりとなっています。

皆様方にご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

今回発刊した「あかしや通信」が北陸支部事業へのご理解の一助となれば幸いです。

また、ご意見等ありましたら事務局へご連絡をお願いいたします。

【広報委員会事務局】



一般社団法人
日本建設機械施工協会北陸支部

〒950-0965 新潟市中央区新光町6-1 興和ビル9F

TEL (025)280-0128

FAX (025)280-0134

E-mail : jcmahoku@beige.ocn.ne.jp

URL <http://jcma-hokuriku.info/>



「あかしや通信」は当支部のホームページでご覧いただけます。